

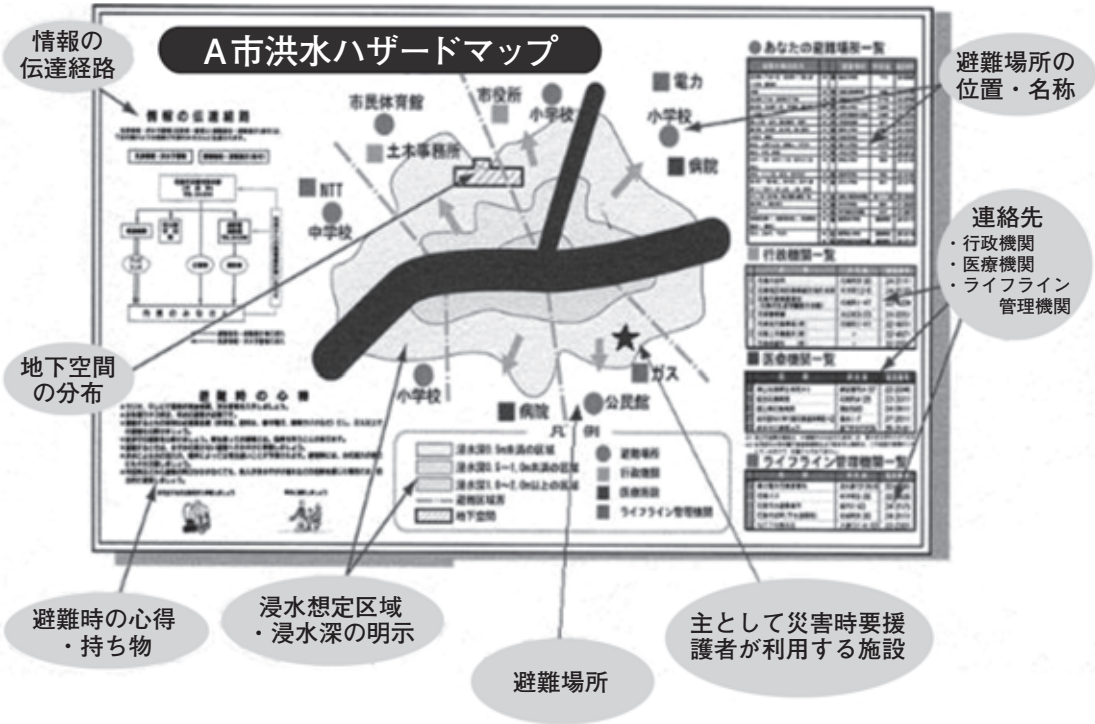
地 理 B

(解答番号 1 ～ 20)

1 地図からとらえる現代世界について、問1～問4に答えよ。

問1 アヤノさんたちは、ハザードマップの役割について興味を持ち、資料1を得た。資料1を基に、アヤノさんたちがハザードマップに関して述べた意見のうち不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 1。

資料1 A市における洪水ハザードマップの例



(<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00127.html> により作成)

① アヤノさんの意見

日ごろから避難経路を確認しておく必要があるため、洪水発生時の浸水想定区域だけでなく、学校や体育館などの避難場所を示している点が大切だと思います。

② マサキさんの意見

実際に洪水が発生すると、浸水想定区域や浸水深はハザードマップの想定どおりになるので、確実に安全な避難場所のみを明示しておく必要があると思います。

③ ハルカさんの意見

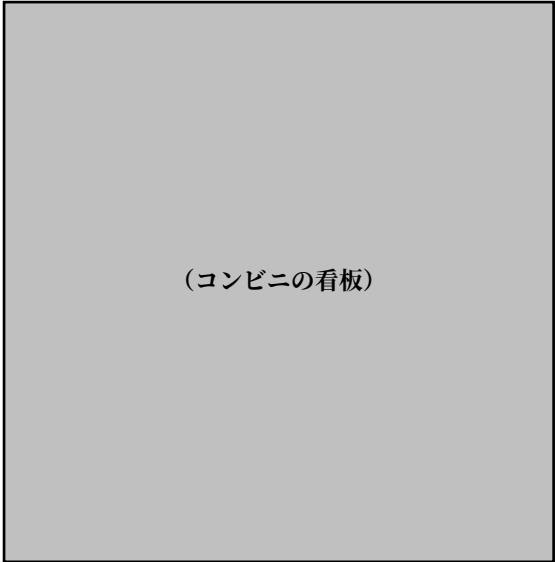
域内における洪水の地域特性を反映した避難時の心得や持ち物を示すために、ハザードマップの作成過程に地域住民が参加することが有効だと思います。

④ ユウシさんの意見

避難場所や医療機関との連携など、洪水に強いまちづくりを進めるために行政機関が避難計画の立案や災害対策を行うための資料となると思います。

問 2 アヤノさんは、資料 2 のように 24 時間営業をしていないコンビニエンスストアがあることを知り、東京都区部を対象とした資料 3～資料 5 を作成した。これらの資料に関して、アヤノさんと先生の会話文中の空欄 **X** に当てはまる説明文として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **2**。

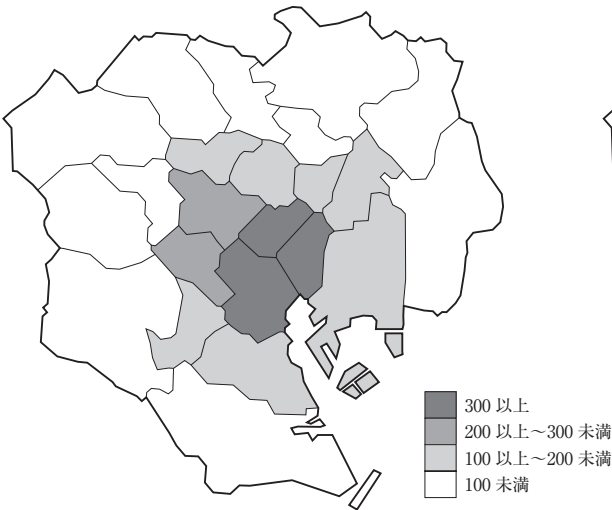
資料 2



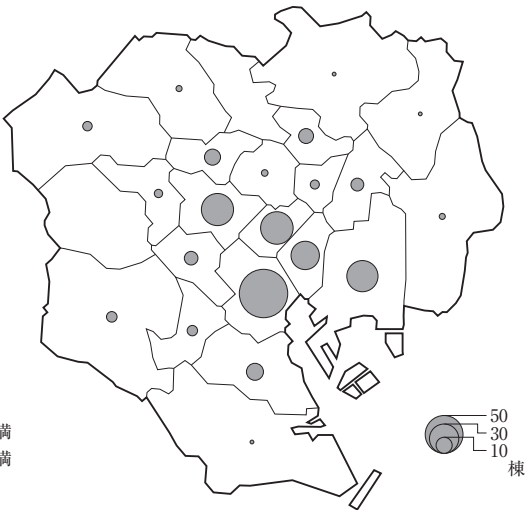
資料 3 F 社のチェーン店のうち 24 時間営業ではない店舗数(2016 年 11 月現在)



資料 4 昼夜間人口比率



資料 5 30 階以上の建築物数



(<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/tyukanj/2010/tj-10index.htm> などにより作成)

アヤノ：先生，資料2のように24時間営業ではないコンビニエンスストアを見かけました。そこで，東京都区部のあるコンビニエンスストアのチェーン店の店舗を調べてみると，資料3のようになりました。なぜAやBの区にはそのような店舗が多いのでしょうか。

先生：おもしろいですね。では，資料4と資料5を用いてその理由を考えてみましょう。

アヤノ：資料4の昼夜間人口比率とは何ですか。

先生：昼夜間人口比率とは，夜間人口100人当たりの昼間人口を示したものであり，この値が100よりも大きければ昼間人口の方が多く，100よりも小さければ夜間人口の方が多いことを示しています。資料4と資料5から，なぜAやBの区には24時間営業ではないコンビニエンスストアが多いのか，その理由が分かるのではないのでしょうか。

アヤノ：資料3中のコンビニエンスストアが24時間営業をしていないのは，AやBの区が X という理由が考えられますね。

先生：そうですね。他にも駅構内や病院内などにも多様な営業時間の店舗が見られます。このように，いくつかの地図を重ね合わせることで，その地域の特性が見えてきますね。

- ① 一戸建ての多い古くからの住宅地で，過疎化の進行によって住民の数が大きく減少しているため，消費者の数が少ない
- ② 郊外の幹線道路沿いに位置しており，広大な駐車場を備えた敷地面積の広い大型スーパーなどが多く建ち並ぶため，他店との競争が激しい
- ③ ファミリー層が多く住むベッドタウンであり，高層マンション内にある店舗が多いため，深夜から早朝にかけての売り上げが見込めない
- ④ 多くの事業所や行政機関が集中する高層建築物の多いオフィス街であり，ビル内にある店舗が多いため，営業時間以外は人通りが少ない

問 3 アヤノさんは、千葉県成田市の空港建設前後における地域の変容を調査するために、資料 6 と資料 7 を得た。これらの資料から読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

資料 6



注) 新東京国際空港は、現在は成田国際空港へ名称が変更されている。

(国土地理院発行 50,000 分の 1 地形図「成田」，昭和 53 年発行に一部加筆)

資料 7



(国土地理院発行 50,000 分の 1 地形図「成田」, 昭和 45 年発行による)

- ① 資料 6 で「新東京国際空港」である場所の一部は、資料 7 では「下総御料牧場」であった。
- ② 資料 6 で空港まで延伸している鉄道は、資料 7 では「けいせいなりた」駅が終点であった。
- ③ 資料 6 で「野毛平工業団地」である場所は、資料 7 では畑や森林などであった。
- ④ 資料 6 で「成田インターチェンジ」である場所は、資料 7 では変電所であった。